

国宝【山鳥毛】購入にかかる予算の詳細

詳細	金額	事業費	今回の予算
刀購入予算	5億円	11.6億円	17.1億円
名刀博物館改修費	1億円		
ふるさと納税返礼品（送料含む）	3.6億円		
クラウドファンディング委託料（成功報酬）	1.7億円		
その他、消耗品、印刷製本費、シンポジウムetc	0.2億円		
基金に積み立てるお金		5.5億円	

重複部分

今回の国宝【山鳥毛】の購入については、賛否両論あるのは、十分理解しています。

ただ、現時点でいえるのは、刀の購入の財源はクラウドファンディングとあって、インターネット経由で不特定多数から資金調達する方針であるということです。そうです、現時点では財源は寄附を集めるもので、市税は使わないとしています。

私も、市民感情として市民の暮らしと、高価な買い物、どう考えても釣り合わないという思いはあります。その一方で、この瀬戸内市に日本にそして、世界に誇ることでできる国宝が里帰りする、そのことも、こんな素晴らしいことはないという思いもあります。

そして、瀬戸内市が国宝購入に向けて頑張る間、日本中にそして、世界に宣伝費を使わずに、この瀬戸内市を宣伝することができると思うのです。そして、国宝の購入がなかったなら、それに伴う観光等への波及効果を期待することができる。子どもたちそして、市民の誇りとなるに違いないと思うのです。ぜひ、やってみるべきだと考えました。

ただ、今回の豪雨災害に鑑み、国宝購入プロジェクトを延期したことは、得策だったと考えます。大変な思いをしている人がたくさんいる中で、たまたま瀬戸内市には今回大きな被害がなかったからといって、このまま寄附をつるのはどう考えても、だれの理解も得られないと思います。

とっしん'S コラム

3月議会の一般質問で、市営バス美和磯上線で、牛文を通ることはできないかと提案しました。

同じ交通不便地域なのに、牛文300人だけが、路線からはずれるのは、あまりにも不公平だと訴えました。

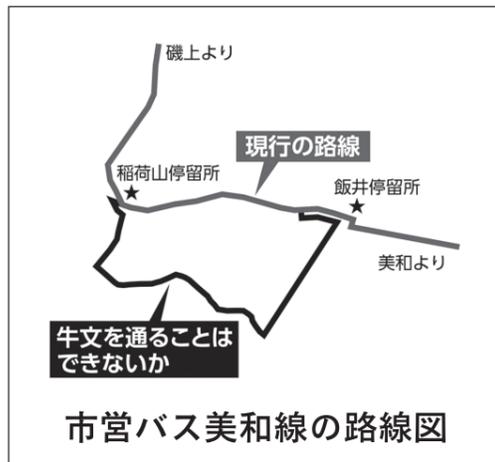
同じ路線周辺の地域なので、ちょっと無理をすれば牛文を通ることは十分可能なはずだと、強く主張しました。

大変うれしいことに、先日公共交通会議が開催され、正式に市営バス美和磯上線で、牛文を通ることが決定しました。

現在準備中で、遅くとも10月には運行が改正される予定です。もうしばらく、お待ちください。

今回も私の拙い行政報告にお付き合いいただきまして、ありがとうございます。

ぜひ皆様の感想等、何かの折に声をかけてやってください。よろしくお願ひ致します。



市営バス美和線の路線図

この度の災害に対し、心よりお見舞い申し上げます。被災された人々の一日も早いご再建をお祈り申し上げます。

また磯上も、田畑・農道は毎年つかりますが、平成2年以来久しぶりに県道がつかり、不安な日々を過ごすこととなりました。こういった経験をするたびに、避難所や避難経路そして、自助共助公助の必要性を感じます。

皆さまには、本当にいつも温かく見守っていただき、そして励ましていただき本当にありがとうございます。私はいつも、皆さまの声を市政に届けていきたい、それとともに、行政の中身を皆さまにきちんとお伝えしたい、その思いでいます。その思いは今もこれからも変わることはありません。

引き続き力強いご支援の程、よろしくお願ひ申し上げます。

今回の私の一般質問は

- ・長船地区の庁舎再編計画基本構想について
を取り上げさせていただきました。

長船地区の庁舎再編計画基本構想について

今回は長船町公民館の今後について、腰を据えてじっくり1時間質問させていただきました。

本年3月に、庁舎再編計画基本構想なるものが提示されました。残念なことにその中で、長船町公民館機能をゆめトピア長船へ移転することが、既定の事実となっています。

そして、3/9から3/29までの間パブリックコメントが募集されました。

市民から20件のパブリックコメントが寄せられました。

一部を紹介すると、

- ・行政のサービス向上という言葉で、簡単に都合の良い方針を立案しないでほしい
- ・福里地区は過去数度の水害に遭っています。近くに避難所があることで安心して生活できます。ぜひとも残して欲しい
- ・長船町公民館は公民館活動、検診、選挙又小学生の遊び場等なくてはならない施設の一つであります。震災以降耐震と言う大前提が幅をきかせ行政は印籠のごとく実行に移そうとしていませんか？
- ・財政は厳しい、これも1つの印籠、高齢化社会も1つ、ならば現状の施設を活用して、高齢化の為に、財政の為に、子どもの為に、障害者の方の為にできることを考え提示していただだけませんか？

後地を売却など言語道断

- ・長船町公民館は10数年続いている（本当は今年第32回ですが）菊花展の場所として必要である
 - ・災害時の避難場所として、長船町公民館は残してほしいです。もしなくなるなら、災害時の現実的な避難場所（高さ、広さがあって高齢者も徒歩で行ける施設）を設置してください
 - ・保健福祉部を本庁へ移転する案は合併時長船町へという約束事があるのでダメです
- 邑久JA倉庫を買取り新築するなどとんでもない、不要な金は使うべからず

これらこそ、生の市民の声です。

7/6 海と化してしまった磯上



2018年6月13日山陽新聞東備版に掲載されました。

日下俊子氏は、指定避難所となつて長船町公民館について質問。危機管理部長は、著しい老朽化や耐震性不足などを説明し、「本年度の市地域防災計画改定にあたり、避難所として指定しない方針」と答弁した。再編基本構想で、保健福祉センターゆめトピア長船に移設する案を示している。

平成30年7月30日発行
発行責任者 瀬戸内市議会議員

くさか としこ



〒701-4273
瀬戸内市長船町磯上 569
TEL/FAX 0869-26-6420
携帯 TEL 090-5702-8336
ホームページ
<http://www.kusaka-toshiko.jp/>

